



前田 治 議員



録画映像

教員の变形労働時間制に関する件

問 变形労働時間制の活用は自分で選択できる権利という認識か

答 教育長
お見込みのとおりです

一般質問

問 教育長は、令和5年度教育行政執行方針の中で、「教職員の働き方改革は、令和5年度より变形労働時間制を導入し、さらなる在校時間の短縮につなげる」と表明しました。

一方、4月に国が公表した実態調査では、平日の勤務時間は小学校教諭が11時間23分、中学校教諭が11時間33分（持ち帰り時間を含む）となっており、教員の長時間労働は依然深刻ですが、私はその原因として、深刻な教員不足と「定額働かせ放題」の教員給与と特別措置法にあると考えます。

以下の点についてお伺いします。

- (1)市内教職員の勤務時間の現状について。
- (2)教員給与と特別措置法への教育長の認識について。

(3)变形労働時間制導入が在校時間の短縮につながるとする具体的な根拠について。

答（教育長） (1)市内全教職員の1日当たりの年平均の勤務時間は、小学校では、令和4年度が9時間26分、中学校では、9時間33分となっています。

(2)国が定めた法律に対し、一自治体の教育長が述べるものではありませんが、教員は、多岐にわたる業務があることから、非常に多忙なものと認識しています。

そのため、子どもたちへの関わりが十分に行えるよう、北海道からの補助スタッフの配置に加え、本市独自の対応として、少人数学級への補助教員の配置のほか、学習支援員の増員配置など、教職員の負担軽減や児童・生徒への、より手厚い指導が可能となるよう様々な対応を講じているものと認識しています。

(3)本制度については、学校全体の業務改善や効率化が促され、結果として、教職員一人一人の在校時間の短縮につながるものと認識しています。

問 变形労働時間制の活用は、本人の自由で、選択権は本人にあり、それに対する外圧や指示、指導は一切なく、あくまで自分の選択として与えられている権利という認識でいいのか。

答（教育長） お見込みのとおりです。もし、そのような外圧があるというのであれば調べていただきたいと思えます。

在宅高齢者等向け

除雪サービスに関する件

問 本事業の今後の展望をどのように考えているか

答 市長
町内会長などと情報共有し、継続してまいりたい

問 市は、高齢者世帯等を対象に除雪サービスを実施していますが、雪の多い地域に住む高齢者などにとって、このサービスは非常に大切な制度として、多くの方々に大変喜ばれています。

一方、サービスの提供を町内会の方々と除雪協力員のボランティアに依拠しているところですが、ボランティアの成り手不足や高齢化などにより、本事業の今後に不安を感じる声も聞かれます。

本事業の今後の展望をどのように考えているかお知らせください。

答（市長） 町内会を主体とした地域の助け合い活動の一環として、除雪ボランティアの確保等について、市、町内会長、民生児童委員、社会福祉協議会のボランティアセンターなどと情報共有を密にし、市民の皆さまの御理解と御協力をいただきますながら、事業を継続してまいりたい。

マイナンバーカードに関する件

問 マイナンバーカードをめぐるトラブルは

答 市長
現時点で本市での誤り事案は確認されていません

問 マイナンバーカードをめぐる、コンビニで別人の住民票を交付、他人の預金口座を誤登録、マイナ保険証に別人の医療情報をひも付けるなど、トラブルが後を絶ちません。

北斗市におけるトラブルの発生状況についてお知らせください。

答（市長） 現時点では、全国で発生しているような、マイナンバーカードに関する誤り事案は確認されていません。



公金受取口座確認画面
(マイナポータルにログイン)